

# 望みの門訪問看護ステーション

平成 27 年 6 月 第 6 号季刊誌



## さくら草

連絡先：富津市富津 617-14

TEL：0439-87-6611

### 看護の日

#### 『社会資源の一つとして』

地域在宅支援センター長

白鳥 尋子

日本の高齢化率は年々増し、今年2015年は65歳以上の方が3,277万人、高齢化率は26%になると予想されております。ここ千葉県の高齢化の増加率は全国2位、県内54の市町村の内、木更津市は36位君津市は32位・富津市は12位。その動きに伴い様々な社会資源もここ数年増えております。

望みの門も在宅支援センターの訪問看護、訪問介護、居宅支援センター、また地域総合相談センター、地域包括支援センターと連携をとり、地域の皆様のニーズに答えられるよう力を入れております。

全国的に在宅介護を希望する高齢者も、介護を頼む相手として『子供や子供の配偶者』という意向は減少し、介護保険制度の実施に伴い『ホームヘルパー』『訪問看護』と言う声が多くなっているそうです。社会資源を活用して頂くその資源となる私たちは、皆様のお声に応えられるよう、自らの経験を生かし医療・生活・心のケア等、より良い健康な生活のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

今後とも望みの門訪問看護ステーションを

よろしくお願い致します。

#### 『看護の日』

望みの門訪問看護ステーション

管理者 波邊 零子

さくら草も今回で6号となりました。第1号から3号まで、『看護の誕生』について、4号は『看護の目的』について、5号は疾患論（総論）についてお話ししました。6号は、5月12日がフローレンス・ナイチンゲールの誕生日であり、『看護の日』でもあったため少しふれたいと思います。

『看護の日』は1990年旧厚生省により制定されました。この日を県民、一人ひとりが看護の心・ケアの心・助け合いの心を、考える機会にしたいという願いが込められております。私達が加入している、千葉県看護協会では1991年から、県民が集う「看護の日」として各地でイベントを開催し今年で25回目を迎えています。今年のテーマは『地域で輪となりつなげる看護』とし医療・看護に直接携わる職種の人々は勿論、地域で生活するすべての人々が繋がりを持ち、安全・安心な生活へとつなげることを願っています。今後、医療の流れは変わってきています。イベントは終了しましたが、『地域包括ケアシステム』の構築が進められている今、訪問看護の重要性を感じております。訪問看護についてご質問やご意見がえられる方は連絡ください。一緒に考えましょう。これからも宜しくお願い致します。

